

# オーロラの世界

2月29日(水)まで

オーロラは夜空で起こるもっとも人気のある現象のひとつです。アラスカやカナダなどへオーロラ観光に行く人は年々増え、年間数十万人に達すると言われています。

オーロラの元は宇宙から飛んでくる電気を帯びた粒子。そのほとんどは太陽起源の陽子です。それが地球の周りの磁場の影響でオーロラ帯と呼ばれる高緯度地域の上空に飛び込んできます。すると数十キロから数百キロの高さの極めて希薄な大気がネオンサインと同じ原理で光るのです。

オーロラ爆発と呼ばれるカーテン状のオーロラに包まれる感覚を新しくなった科学館のプラネタリウムでぜひご体験下さい。



写真提供: 羽生章氏

## 「オーロラの世界」開演時刻

平日	—	11:00*	12:00	14:00	16:00
土日祝	10:00	—	12:00	14:00	16:00

※ 2/28(火)、29(水) 11:00は幼児向け投影を行いますので休演します。

# さがせ! 第2の地球

5月27日(日)まで

アメリカ・ユタ州ソルトレイクにあるクラークプラネタリウムが製作した“EXTREME PLANETS”の日本初公開作品で、大阪市立科学館のオリジナルの日本語版です。

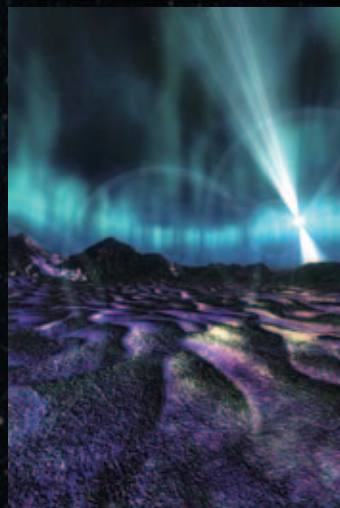
夜空に見える星々のほとんどは、太陽と同じ自ら光る恒星です。その周りには、太陽系のように自ら光らない惑星を従えているのではないのでしょうか? そんな疑問の真偽は1995年まで分かりませんでした。太陽系の外で惑星を見つけることは非常に難しかったからです。

最初に見つけた惑星は、木星ほどの大きさで、その恒星近くをわずか4日でぐるぐる回る星でした。太陽と地球との距離の1/20の距離しか恒星から離れてないので、表面温度は1000度を超える灼熱の世界です。

観測技術が進み、現在では600個以上の太陽系外の惑星が見つかっていますが、大半は地球とは似ても似つかない星です。太陽が2つある惑星や、空はオーロラ、大地はネオンサインのように輝く中性子星の周りを回る惑星、灼熱の世界など極限の世界です。果たして地球に似た惑星は見つかるのでしょうか。遙かかなたにある不思議な惑星の姿を紹介します。



©The Clark Planetarium



## 「さがせ! 第2の地球」開演時刻

平日	—	13:00	15:00
土日祝	11:00	—	15:00



複弁蓮華文軒丸瓦 平安時代 四天王寺採集 大阪歴史博物館蔵

## ◆ 学芸員のおススメコレクション ◆

### 大阪歴史博物館 四天王寺採集の蓮華文軒丸瓦

四天王寺は大阪にあるお寺でもっとも有名なもののひとつでしょう。創建は聖徳太子といわれ、飛鳥時代(7世紀)に建てられました。

この瓦は回廊北西角の外側周辺で昭和35年に拾われました。現在はきれいに舗装され、こんな瓦が拾えたとは想像できないのではないのでしょうか。これと同じ文様の瓦が境内の発掘調査でも出土しており、現在重要文化財に指定されています。考古学の調査研究の素材には、発掘調査以外にも、こうした採集品を用いることがまれにあります。

(大阪歴史博物館学芸員 加藤俊吾)

今回紹介した瓦は、8階特集展示室で開催中の「摂河泉の古瓦―採集資料からみた古代・中世の寺院―」で展示中。<2/13(月)まで>

大阪歴史博物館 **住所** 〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32

**TEL** 06-6946-5728 **FAX** 06-6946-2662 **アクセス** 地下鉄「谷町四丁目」9号出口前

**ホームページ** <http://www.mus-his.city.osaka.jp>

